

科目名：	区別	担当教員名：	使用テキスト:出版社名:テキスト名
音楽Ⅱ	演習	八木澤和希子	こどものうたベストテン(ドレミ楽譜出版社) きれいにうたいましょうソルフェージュ2(ヤマハ) その他幼児、児童向け合奏曲、合唱曲
授業の到達目標：音楽を総合的にとらえることに重点を置き、歌唱や合唱、楽器演奏、合奏を通して基礎的技能を高めるとともに豊かな表現力を養う。			
授業の概要：保育現場における音楽指導上必要とされる基本的技術(譜面が読めて、リズムが取れ、歌い、演奏できる)の習得と幼児の生活、季節、行事に適した曲の伴奏、弾き歌い、楽器演奏法を学ぶ。			
回	項目	内 容	
1	・オリエンテーション ・ソルフェージュ ・幼児の歌(教育実習に向けて)	実習に向けて リズム練習(両手打ち) 階名唱 「よいこのあいさつ」歌唱及び伴奏練習(片手→両手)	
2	・ソルフェージュ ・幼児の歌(教育実習に向けて)	リズム練習(両手打ち) 階名唱 「よいこのあいさつ」弾き歌い「さんぽ」歌唱及び伴奏練習(片手→両手)	
3	・ソルフェージュ ・幼児の歌(教育実習に向けて)	リズム練習(両手打ち) 階名唱 「さんぽ」弾き歌い「あめふりくまのこ」歌唱及び伴奏練習(片手→両手)	
4	・ソルフェージュ ・幼児の歌(教育実習に向けて)	リズム練習(両手打ち) 階名唱 「あめふりくまのこ」弾き歌い「とけいのうた」歌唱及び伴奏練習(片手→両手)	
5	・ソルフェージュ ・幼児の歌(教育実習に向けて)	リズム練習(両手打ち) 階名唱 「とけいのうた」弾き歌い「おとうさん」歌唱及び伴奏練習(片手→両手)	
6	・ソルフェージュ ・幼児の歌(教育実習に向けて)	リズム練習(両手打ち) 階名唱 「おとうさん」弾き歌い「うんどうかい」歌唱及び伴奏練習(片手→両手)	
7	・楽器奏法 ・ソルフェージュ ・幼児の歌	ミュージックベルの特徴と奏法 リズム練習(両手打ち) 階名唱 「おばけなんてないさ」歌唱及び伴奏練習(片手→両手)	
8	・楽器奏法 ・ソルフェージュ ・幼児の歌	ミュージックベルの特徴と奏法 リズム練習(両手打ち) 階名唱 「おばけなんてないさ」弾き歌い「こおろぎ」歌唱及び伴奏練習(片手→両手)	
9	・ソルフェージュ ・幼児の歌(保育実習に向けて)	リズム練習(両手打ち) 階名唱 「こおろぎ」弾き歌い「やきいもグーチーパー」歌唱及び伴奏練習(片手→両手)	
10	・ソルフェージュ ・幼児の歌(保育実習に向けて)	リズム練習(両手打ち) 階名唱 「やきいもグーチーパー」弾き歌い「たきび」歌唱及び伴奏練習(片手→両手)	
11	・ソルフェージュ ・幼児の歌(保育実習に向けて)	リズム練習(両手打ち) 階名唱 「たきび」弾き歌い「まっかな秋」歌唱及び伴奏練習(片手→両手)	
12	・ソルフェージュ ・幼児の歌(保育実習に向けて)	リズム練習(両手打ち) 階名唱 「まっかな秋」弾き歌い「となりのトトロ」歌唱及び伴奏練習(片手→両手)	
13	・合唱 ・ソルフェージュ ・幼児の歌	呼吸と発声 リズム練習(両手打ち) 階名唱 「となりのトトロ」弾き歌い「ミッキーマウスマーチ」歌唱及び伴奏練習(片手→両手)	
14	・合唱 ・ソルフェージュ ・幼児の歌	パートの役割、アンサンブル、ハーモニー リズム練習(両手打ち) 階名唱 「ミッキーマウスマーチ」弾き歌い	
15	・合奏 ・ソルフェージュ ・幼児の歌	打楽器、鍵盤楽器の特徴と奏法 リズム練習(まとめ) 階名唱 これまで学んだ幼児のうたの確認	
16～ 30	・集中授業 合唱 合奏 リコーダーアンサンブル ミュージックベル演奏 ミュージカル	音楽、同Ⅱの授業で習得した技能、表現の総決算としての音楽発表会(R5.3.2)に向けて練習を行う。	
学生に対する評価方法：実技試験結果に加え、授業態度、意欲、理解度、出席状況により総合的に評価する。			

科目名：	区別	担当教員名：	使用テキスト:出版社:テキスト名
音楽(器楽)	演習	福 眞 律 子 八木澤和希子	標準バイエルピアノ教則本
授業の到達目標：			
保育の実践に必要な音楽的技能(主としてピアノ演奏テクニック)を習得し、より豊かな音楽表現のできる演奏技術を培う。			
授業の概要：			
学生の殆どを占める初心者については、ピアノの基礎技術の習得に重点を置く。経験者には個々のレベルに応じた教材で個人レッスンをを行い、さらに高い技術、表現力を身につけさせる。			
回	項 目	内 容	
1	自己紹介 ピアノのテクニックの基本、基礎	ピアノを弾く姿勢 椅子の高さ 手、指の形 五線譜と音符	
2	バイエル 45 番	5指のすべてを用いる奏法 右手奏 左手奏 両手奏	
3	バイエル 46 番	4分の4拍子 左手伴奏和音 C,Gコード 右手奏法(タイ)	
4	バイエル 48 番	4分の3拍子 タイ 付点4分音符奏 スラー、レガート奏法	
5	バイエル 49 番	4分の3拍子 左手伴奏和音 C,G,Fコード	
6	バイエル 50 番	4分の3拍子 右手トリル奏法 8分音符右手から左手へのスムーズな移動奏法	
7	バイエル 51 番	右手 シの音が付加された六度音程 左手 オクターブ奏法	
8	バイエル 52 番	8分の6拍子 左手の6拍子に右手のメロディーを流れるように乗せる練習	
9	バイエル 58 番	右手 メロディーフレーズ cresc. dim. 左手 ヘ音記号の読譜	
10	バイエル 55 番	右手 付点4分音符 8分音符 2分音符 全音符 左手 8分休符 ト音記号 → ヘ音記号 → ト音記号 ハ長調 → ト長調	
11	バイエル 59 番	8分の3拍子 右手 アウトタクトのテンポ 左手 ハ長調からト長調へのスムーズな移動奏	
12	バイエル 56 番	4分の3拍子 右手、左手ともにト長調の位置 最後の4分音符の拍の長さ	
13	バイエル 57 番	4分の3拍子 8分音符+2分音符のリズム p、fの強弱の変化	
14	バイエル 60 番	4分の3拍子 対位法 短調 → 長調 → 短調 mf,f,アクセント, cresc. dim.	
15	バイエル 61 番	ト長調 右手 オクターブ 左手 ヘ音記号	

回	項 目	内 容
16	バイエル 62 番	4 分の 3 拍子 右手、左手ともに 5 指オクターブの移行(余分な力を抜く練習)
17	ハ調長音階	5 指の指くぐり スムーズな運指の練習
18	バイエル 65 番	右手音階メロディーから左手音階メロディーへの移行
19	バイエル 66 番	8 分の 6 拍子 右手 ト長調の位置 左手 ハ長調の位置
20	バイエル 67 番	4 分の 2 拍子 アウフタクト 右手 6 度音程重音のスムーズな移行 左手 2 分音符+8 分音符タイ 4 度音程
21	バイエル 68,69 番	ト長調重音の練習
22	ト調長音階	4 分の 4 拍子 1 拍目のアクセント 拍子感 # 記号
23	バイエル 70 番	右手ト長調重音の習得
24	バイエル 71 番	左手ト長調重音の習得
25	バイエル 72 番	右手メロディー同音指換え奏
26	バイエル 74 番	ト長調 3 連符伴奏
27	バイエル 73 番	ハ長調 臨時記号(#, b, ♯)の習得
28	〃	cresc. dim. アクセント,スタカティシモ重音の移動奏
29	ニ調長音階	2 つの#(F#, C#)を含む音階の練習
30	バイエル 75 番	右手、左手ともに別個の音形 p,mf, cresc.休符の練習
<p>学生に対する評価方法 : 各学期末毎に発表会形式で行う実技試験(後期は暗譜)の結果に加え、授業態度、意欲、理解度、出席状況により総合的に評価する。</p>		

科目名：	区別	担当教員名：	使用テキスト:出版社:テキスト名
音楽Ⅱ(器楽)	演習	福 眞 律 子 八木澤和希子	標準バイエルピアノ教則本
授業の到達目標： 1年間で習得した基礎的技術を更に深め、より豊かな音楽表現のできる演奏技術を培う。			
授業の概要： 学生個々のレベルに応じた個人レッスンを行い、さらに高い技術、表現力を身につけさせる。 優秀な学生には音楽発表会の場で演奏する機会を設ける。			
回	項 目	内 容	
1	バイエル 76 番	ト長調 指換え 5 指移動 音階 重音 左手 1 拍目休符の伴奏形 f, mf, p, アクセント, cresc. dim.	
2	バイエル 77 番	ハ長調 右手 3 と 1 の指を広げる練習 臨時記号(#, b)の確認	
3	バイエル 78 番	8 分の 6 拍子 右手 6 度音程重音の移動 4, 2 の指を広げる練習 同音の指換え 左手 5 の指弾き伸ばしの練習	
4	〃	複雑な要素の曲の反復練習	
5	イ調長音階	3 つの#(F#, C#, G#)を含む音階の練習	
6	バイエル 79 番	臨時記号(#, b)の確認 音階で構成された曲のフレーズを表情豊かに演奏	
7	バイエル 80 番	4 分の 3 拍子 ワルツのリズムに乗った表現 右手 裏拍 左手 交差の練習	
8	バイエル 81 番	イ長調 → ニ長調 → イ長調 アウフタクト 指換え	
9	ホ調長音階	4 つの#(F#, C#, G#, D#)を含む音階の練習	
10	バイエル 82 番	ホ長調 → イ長調 → ホ長調 アウフタクト	
11	バイエル 83 番	ハ長調 カノン風音階の練習	
12	バイエル 84 番	8 分の 6 拍子 ハ長調重音カノン	
13	ヘ調長音階	b (Bb) を含む音階の練習	
14	バイエル 85 番	ヘ長調 左手 3 連符から右手 3 連符へ	
15	イ調短音階	短音階の仕組み 6 音, 7 音の変化の練習	
学生に対する評価方法： 発表会形式で行う実技試験(暗譜)の結果に加え、授業態度、意欲、理解度、出席状況により総合的に評価する。			